

## 第6回保育士養成のあり方検討委員会 議事要旨

平成24年7月26日(木)午後1時30分～午後3時

倉吉体育文化会館 教養室2

### 1 保育士養成のあり方検討委員会の報告書(案)について

○ 9頁

保育専門学院の必要経費について、奨学金制度は利用できないとあるが、これに限らず生活福祉資金制度のことを追記した方がよい。

○ 10頁

全国の指定保育士養成施設の状況や、鳥取県における保育士の養成数が全国と比較してどのような状況なのか追記した方がよい。

○ 13頁

6の4行目「応えられていない」は強い表現である。そこまで断定しなくてよい。

○ 16頁

②で、保育専門学院を大学化することについては、「慎重に考える必要がある」としているが、大学化は、事実上不可能なのでもう少し表現を強めてもよい。

○ 17頁

- ・ 経済的支援制度については、支給要件を高くして使いにくい制度にならないよう留意する必要がある。
- ・ 必要経費の比較で、鳥取短期大学の独自奨学金については、内容が分かるように追記した方がよい。

○ 19頁

最後に、補足として次の事項を追記した方がよい。

- ・ 平成25年度入学生から佛教大学に代わり大阪芸術大学短期大学部と提携することで、佛教大学と比較して20万程度、所要経費が軽減されること。
- ・ 平成22・23年度の幼稚園教諭免許の取得率が3割を下回ったが、その後は学院生指導を充実させており、平成24年度卒業生からは状況が改善される見込みが高いこと。
- ・ 大阪芸術大学短期大学部と提携している他の指定保育士養成施設の幼稚園教諭免許の取得率は軒並み80%を超えており、保育専門学院も提携後は同様の状況になることが見込まれること。

### 2 報告書のまとめについて

- 本日、各委員から出た修正意見を報告書(案)に反映させ、事務局からメール等であらためて各委員に意見を聞くこととする。
- 修正意見を反映させた上で、8月中には報告書としてまとめる。
- 検討委員会の開催は今回で最後とする。

以上